

## 諸 報 告

	ページ
第 1 前回幹事会以降の経過報告	
1 会長等出席行事	1
2 委員会委員の辞任	1
第 2 各部・各委員会等報告	
1 部会の開催とその議題	1
2 幹事会附置委員会の開催とその議題	1
3 機能別委員会の開催とその議題	2
4 分野別委員会の開催とその議題	3
5 課題別委員会の開催とその議題	9
6 サイエンスカフェの開催	10
7 総合科学技術会議報告	11
8 インパクトレポート	12

## 第1. 前回幹事会以降の経過報告

### 1 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
4月10日(火)	提言「学術からの提言 -今、復興の力強い歩みを-」等の内閣総理大臣への手交	大西会長、小林副会長、春日副会長
4月12日(木)	総合科学技術会議有識者会合	大西会長
4月17日(火)	東日本大震災復興支援委員会からの提言に係る宮城訪問	大西会長、小林副会長、春日副会長
4月18日(水) ～22日(日)	STS フォーラム評議員会等(ベルリン)	大西会長
4月23日(月)	東日本大震災復興支援委員会からの提言に係る岩手及び福島訪問	大西会長、小林副会長、春日副会長
4月24日(火)	総合科学技術会議 科学技術イノベーション政策推進調査会議	大西会長
4月25日(水)	横断型基幹科学技術研究団体連合2012年度定時総会 ※特別講演	春日副会長
4月25日(水)	日本国際賞祝宴	春日副会長
4月26日(木)	総合科学技術会議有識者会合	大西会長

(注) 部会、委員会等を除く。

### 2 委員会委員の辞任

○科学・技術を担う将来世代の育成方策検討委員会

木村 茂光(平成24年4月13日付)

内田 伸子(平成24年4月13日付)

## 第2. 各部・各委員会報告

### 1 部会の開催とその議題

なし

### 2 幹事会附置委員会の開催とその議題

(1) 若手アカデミー委員会拡大役員会(第4回)(4月11日)

- ①委員会運営の在り方について ②学術の未来検討分科会からの活動報告  
③国際活動計画について ④シンポジウムの開催について ⑤その他

(2) 科学者に関する国際人権問題委員会 国際人権問題対応分科会 (第1回) (4月11日)

- ① 科学者に関する国際人権問題委員会及び国際人権対応分科会の説明
- ② 委員長等の決定
- ③ 分科会の活動について
  - (1) 国際人権ネットワークから通知されるアクション・アラート (人権侵害案件) に対する対応について
  - (2) 日本学術会議としてどこまで人権問題に対応するべきか
- ④ 第10回 国際人権ネットワーク隔年総会への参加について
- ⑤ その他

### 3 機能別委員会の開催とその議題

(1) 科学と社会委員会課題別審議検討分科会 (第4回) (4月9日)

- ① アジアの大都市制度と経済成長に関する検討委員会の設置について
- ② その他

(2) 科学者委員会学術体制分科会 (第2回) (4月9日)

- ① 第22期の分科会でとりあげる検討課題について
- ② 検討の進め方について
- ③ 提言等へのタイムラインの確認について
- ④ その他

(3) 科学と社会委員会 (第5回) (4月10日)

- ① 前回議事要旨 (案) の確認
- ② 課題別委員会の審議状況について
- ③ 分科会の活動等について
- ④ 担当委員の課題別委員会への出席にかかる規定の改正について
- ⑤ その他

(4) 科学者委員会男女共同参画分科会 (第2回) (4月10日)

- ① 協力学術研究団体に対するアンケート調査の結果について
- ② 今後の運営について
- ③ その他

(5) 国際委員会 (第12回) (4月11日)

- ① 平成24年度代表派遣実施計画における一部会議の会期変更について
- ② 代表派遣における派遣者 (特任連携会員) の決定について
- ③ IAC 理事会について (報告)
- ④ ブルガリア科学アカデミー二国間交流について
- ⑤ アジア学術会議に関するベトナム学術機関等との会合及び第12回アジア学術会議に関するインドネシア科学院との事前打ち合わせに係る派遣について (報告)
- ⑥ 日本・カナダ女性研究者交流分科会委員の派遣について (報告)
- ⑦ その他

(6) 国際委員会アジア学術会議分科会 (第3回) (4月11日)

- ① ウブントゥ連合について
- ② アジア学術会議に係る活動報告
- ③ 第12回SCA会合の開催準備の進捗状況について
- ④ アジア学術会議への新規加盟の動きについて
- ⑤ アジア学術会議における会費制の導入、徴収会費の取扱いについて
- ⑥ SCA会合におけるキーノートスピーカーへの旅費支援について
- ⑦ タイ及びミャンマーの学術機関等との会合に係る会員の派遣について
- ⑧ その他

(7) 国際委員会アジア学術会議分科会第12回SCA会合担当小分科会 (第3回) (4月11日)

- ① 第12回SCA会合国際シンポジウムについて(LIPIにおけるabstractの査読結果を踏まえての協議等)
- ② その他

(8) 国際委員会 (第13回) (4月18日)

- ① WSF (ワールドサイエンスフォーラム) 運営委員会出席に係る会員の派遣
- ② 代表派遣における派遣者 (特任連携会員) の決定について

4 分野別委員会の開催とその議題

第一部担当

(1) 社会学委員会 (第3回) (4月10日)

- ①社会学委員会と各分科会との連携について
- ②東日本大震災と福島原発事故の対応について
- ③今後の社会学委員会の運営について
- ④その他

(2) 経済学委員会ワーク・ライフ・バランス研究分科会 (第1回) (4月11日)

- ①委員長、副委員長、幹事の選出
- ②委員会活動の目標
- ③具体的活動内容の検討

(3) 心理学・教育学委員会 (第2回) (4月11日)

- ①心理学分野・教育学分野それぞれの今後の活動計画
- ②分科会活動の総覧
- ③両分野の緩い連携
- ④日本学術会議その他の委員会等の動向 (学術の大型研究の分科会等)
- ⑤幹事会及び第1部の動き
- ⑥その他

(4) 法学委員会「グローバル化と法」分科会 (第3回) (4月14日)

- ①報告: 曾野裕夫「ウィーン売買条約と日本民法」(仮)
- ②今後の審議方針について
- ③その他

(5) 地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会（第3回）及び学校地理教育小委員会、大学地理教育小委員会、環境・防災教育小委員会、地図／GIS教育小委員会（第2回）合同会合（4月15日）

- ① 「地理基礎・歴史基礎」教育支援研究発表  
「自然災害の予測と軽減：方法・成果・課題」  
「インターネットによる地理基礎・歴史基礎教材収集公開システムの開発と実演」
- ② 各小委員会別審議事項  
学校地理教育小委員会議題  
1. 研究開発校候補の進捗状況  
2. 講演をうけての「地理基礎」における自然地理野位置づけの意見交換  
3. その他  
環境防災地理教育小委員会  
1. 地理基礎の自然分野のための教育支援について  
2. その他  
大学地理教育小委員会  
1. 研究開発校候補の進捗状況  
2. 講演を受けての「地理基礎」における自然地理の位置づけ意見交換  
3. その他  
地図／GIS教育小委員会  
1. 地理基礎支援と教育GISフォーラム  
2. その他
- ③ 合同審議

## 第二部担当

(1) 農学委員会（第3回）・食料科学委員会（第3回）合同会議（4月10日）

- ①夏季委員会・公開シンポジウムについて
- ②各分科会の活動について
- ③その他

(2) 基礎医学委員会神経科学分科会（第2回）（4月10日）

- ①神経系3分科会合同シンポジウム（12/1開催）について（報告事項）
- ②脳とこころ分科会との合同分科会開催に向けて（審議事項）
- ③意見表出WGの設置について（審議事項）
- ④大型研究に関するヒアリングについて（報告事項）
- ⑤その他

(3) 健康・生活科学委員会（第3回）（4月10日）

- ①各分科会活動報告
- ②今期活動方針
- ③その他

(4) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同動物科学分科会（第2回）

（4月11日）

- ①自然史標本の文化財化 ②今後の活動方針 ③その他
- (5) 臨床医学委員会医師の専門職自律に関する分科会 (第3回) (4月11日)  
①これからの活動について ②その他
- (6) 臨床医学委員会 (第2回) (4月11日)  
①この間の分科会の活動報告  
②臨床医学委員会と他の委員会の連携活動について  
③今後の活動について ④その他
- (7) 臨床医学委員会出生・発達分科会 (第2回) (4月13日)  
①平成24年度課題 ②作業日程 ③その他
- (8) 農学委員会・食料科学委員会合同IUSS分科会 (第2回) (4月17日)  
①IUSS役員推薦の進め方について  
②第22期のIUSS分科会活動について  
③「世界土壌パートナーシップ(GSP)」アジア地域ネットワークへの対応について  
④その他
- (9) 臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同生活習慣病対策分科会 (第1回)  
(4月17日)  
①委員長、副委員長、幹事1名の選出  
②今後の活動方針(案)、役割分担の協議  
③次回分科会の日程調整 ④その他
- (10) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同自然人類学分科会 (第2回)  
(4月18日)  
①22期の活動方針について ②その他
- (11) 農学委員会・食料科学委員会合同CIGR分科会 (第2回) (4月19日)  
①副委員長の選出  
②CIGR-Age 2012 (バレンシア)における選挙などに臨む基本姿勢について  
③CIGRの国内アクティビティ向上に資する方策について ④その他
- (12) 健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会 (第3回) (4月20日)  
①今後の活動案 ②ワーキンググループ案  
③ワーキンググループのメンバー案 ④次回分科会の日程調整 ⑤その他
- (13) 健康・生活科学委員会高齢者の健康分科会 (第1回) (4月23日)

- ①委員長、副委員長、幹事の選出 ②活動方針について ③その他
- (14) 心理学・教育学委員会、臨床医学委員会、健康・生活科学委員会、環境学委員会、土木工学・建築学委員会合同子どもの成育環境分科会（第4回）（4月23日）
- ①成育時間に関する提言最終とりまとめの確認について  
②成育コミュニティの現状と課題について（各委員からの話題提供）  
③その他
- (15) 歯学委員会歯学教育分科会（第1回）（4月24日）
- ①委員長、副委員長、幹事の選出 ②活動方針について ③その他
- (16) 歯学委員会臨床系歯学分科会（第2回）（4月24日）
- ①今期の活動方針について ②その他
- (17) 歯学委員会病態系歯学分科会（第2回）（4月24日）
- ①今期の活動方針について ②その他
- (18) 歯学委員会歯科医療制度に関する検討分科会（第2回）（4月24日）
- ①今期の活動方針について ②特任連携会員候補者について  
③今後の活動予定（講演者の選定など）について ④その他
- (19) 歯学委員会基礎系歯学分科会（第1回）（4月24日）
- ①委員長、副委員長、幹事の選出について  
②第22期の活動方針について  
③第54回歯科基礎医学会における日本学術会議シンポジウムについて  
④その他
- (20) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会合同総合微生物科学分科会（第2回）、基礎生物学委員会・農学委員会・食料科学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会合同IUMS分科会（第2回）、基礎医学委員会病原体学分科会（第2回）合同会議（4月27日）
- ①科学・技術のデュアルユース問題について  
②BSL-4施設について ③市民公開フォーラムについて ④その他

### 第三部担当

- (1) 化学委員会化学企画分科会（第2回）（4月9日）
- ①今期の3部の活動方針について紹介  
（部会で紹介されると思いますので、全員外の方のために簡単に）  
②各分科会の活動についての報告（各分科会委員長）

- ③今期の化学委員会の活動について
- ④分子研究所長招聘研究会について ⑤その他

(2) 土木工学・建築学委員会土木工学・建築学企画分科会 (第3回) (4月11日)

- ①大学教育の質保証検討における土木工学・建築学分野検討分科会の立ち上げについて
- ②日本学術会議第162回総会の報告
- ③第22期土木工学・建築学委員会の活動方針・運営方針
- ④各分科会の構成と活動方針
- ⑤IRDR分科会の特任連携会員推薦の件
- ⑥土木工学・建築学委員会第2回委員会の計画
- ⑦東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会の報告 (震災データのアーカイブスおよび連続シンポジウム)
- ⑧その他

(3) 情報学委員会 (第4回) (4月11日)

- ①情報学委員会で議論を深めるべき課題について
- ②マスタープランの時期改訂に向けて
- ③情報学分野のアウトリーチ活動について
- ④東日本大震災に関連した活動について ⑤その他

(4) 環境学委員会環境科学分科会 (第2回) (4月11日)

- ①自己紹介
- ②これまでの環境科学分科会活動経緯、特に俯瞰図作成に関する経緯
- ③環境学委員会における活動経緯、特に俯瞰図作成に関する分科会間の分担
- ④環境科学の俯瞰に関する一考察
- ⑤分科会のその他の活動方針
- ⑥俯瞰図作成の方針 ⑦その他

(5) 化学委員会触媒化学・化学工学分科会 (第2回) (4月12日)

- ①資源・環境・エネルギー分野についての議論

(6) 地球惑星科学委員会地球惑星科学企画分科会 (第3回) (4月12日)

- ①学術会議動向
  - 2,1 第3部拡大役員会 2,2 科学者委員会
  - 2,3 大型研究分科会 2,4 震災対策
  - 2,5 そのほか
- ②分科会活動報告
  - 3,1 地球惑星圏分科会 3,2 地球人間圏分科会
  - 3,3 社会貢献分科会 3,4 国際対応分科会
  - 3,5 大学教育分科会 3,6 そのほか



③地球惑星科学連合報告 ④その他

(7) 土木工学・建築学委員会低炭素建築・都市マネジメント分科会 (第2回) (4月13日)

- ①学術会議における震災対応
- ②温暖化対策における省庁の最近の動き (吉野先生)
- ③都市を対象とした低炭素化に関する最近の動き (浅見先生)
- ④本分科会における審議内容について ⑤その他

(8) 土木工学・建築学委員会大学等研究・教育キャンパス整備に関する検討分科会 (第2回) (4月16日)

- ①九州大学新キャンパスについて  
九州大学計画推進室 坂井猛教授より問題提起
- ②自由討議
- ③今後の予定

(9) 土木工学・建築学委員会地球環境の変化に伴う風水害・土砂災害への対応分科会 (第2回) (4月17日)

- ①風水害に関する話題提供 (田村先生)
- ②昨年の水・土砂災害について (小松先生)
- ③自由討議 ④その他

(10) 材料工学委員会材料の循環使用検討分科会 (第1回) (4月18日)

- ①役員の選出
- ②材料の循環使用検討分科会の活動方針について
- ③その他

(11) 材料工学委員会バイオマテリアル・ナノテクノロジー分科会 (第2回) (4月18日)

- ①バイオマテリアルの教育とその制度整備  
海外の状況。ナノテクノロジーとの関連
- ②国際競争を視野に入れた研究推進の在り方  
今後の研究課題
- ③その他

(12) 総合工学委員会工学基盤における知の統合分科会 (第3回) (4月18日)

- ①潜在する社会的期待の発見に関する話題提供 (中西幹事)
- ②研究フレームワークづくりについて (吉村幹事)
- ③小委員会からの報告 ④その他

(13) 材料工学委員会材料工学将来展開分科会 (第3回) (4月18日)

- ①今期材料工学将来展開分科会の活動方針について
- ②材料工学分科会委員役割分担について
- ③材料工学シンポジウム企画案について
- ④次回日程について

(14) 環境学委員会環境政策・環境計画分科会（第4回）（4月23日）

- ①検討課題に関する討議
  - 話題提供1 石川委員 岩沼市の復興への取り組みと課題
  - 話題提供2 横張委員 大槌町の復興への取り組みと課題
  - 話題提供3 羽藤委員 陸前高田市の復興への取り組みと課題
- ②その他

(15) 土木工学・建築学委員会IRDR分科会（第1回）（4月23日）

- ①委員長、副委員長、幹事の決定
- ②今後の活動方針について
- ③メンバーの追加について ④その他

(16) 研究にかかわる「評価システム」の在り方検討委員会（第2回）（4月25日）

- ①前期に実施したアンケート調査の解析結果について（林委員）
- ②話題提供（若手研究者の現状について（評価のあり方に関する課題）
  - ・小安重夫参考人（JSPS学術システムセンター主任研究員）
  - ・齋藤経史参考人（NISTEP研究員）
- ③今後の進め方について

(17) 機械工学委員会ロボット学分科会（第2回）（4月25日）

- ①今期に成果としてまとめるロボット学のトピックスの議論
- ②今期の計画

(18) 総合工学委員会ICO分科会（第2回）（4月26日）

- ①経過報告 ②光量子科学技術連携委員会について
- ③今後の活動計画 ④その他

## 5 課題別委員会の開催とその議題

(1) 大学教育の分野別質保証推進委員会法学分野の参照基準検討分科会（第7回）  
（4月10日）

- ①法学分野の参照基準の策定について ②その他

(2) 大学教育の分野別質保証推進委員会生物学分野の参照基準検討分科会（第1回）  
（4月13日）

- ①委員長、副委員長及び幹事の選出について
- ②今後の進め方について ③その他

(3) 科学・技術を担う将来世代の育成方策検討委員会 (第3回) (4月13日)

- ①委員の辞任について
- ②科学・技術を担う将来世代の育成方策に関する論点の抽出と議論
- ③今後の進め方について ④その他

(4) 大学教育の分野別質保証推進委員会経営学分野の参照基準検討分科会 (第6回) (4月15日)

- ①経営学分野の参照基準について ②シンポジウムの開催について
- ③その他

(5) 大学教育の分野別質保証推進委員会機械工学分野の参照基準検討分科会 (第1回) (4月17日)

- ①委員長、副委員長及び幹事の選出について
- ②今後の進め方について ③その他

(6) 高レベル放射性廃棄物の処分に関する検討委員会役員会 (第1回) (4月18日)

- ①今後の進め方について

(7) 医師の専門職自律の在り方に関する検討委員会 (第1回) (4月19日)

- ①委員長、副委員長、幹事の選出について
- ②今後の活動等について ③その他

(8) 大学教育の分野別質保証推進委員会数理科学分野の参照基準検討分科会 (第1回) (4月27日)

- ①委員長、副委員長及び幹事の選出について ②参照基準について
- ③今後の進め方について ④その他

## 6 サイエンスカフェの開催

日 時：4月20日 (金) 18:30～20:30

場 所：サロン・ド富山房

テーマ：『万物は情報を発信する!』

ゲスト：板生 清 (東京大学名誉教授、東京理科大学教授)

コーディネーター：室伏 きみ子 (日本学術会議会員、お茶の水女子大学大学院教授)

## 7 総合科学技術会議報告

### 1. 本会議

なし

### 2. 専門調査会

科学技術イノベーション政策推進専門調査会（第2回）（4月24日）

- ①科学技術イノベーション政策推進専門調査会の進め方について
- ②科学技術関係予算の重点化について
- ③基礎研究及び人材育成の強化について
- ④重点化課題検討タスクフォースの検討状況について[報告]
- ⑤その他

### 3. 総合科学技術会議有識者議員会合

4月12日	会長出席
4月19日	会長欠席
4月26日	会長出席

## 8. インパクト・レポート

労働雇用環境と働く人の生活・健康・安全委員会  
提言「労働・雇用と安全衛生に関わるシステムの再構築を  
～働く人の健康で安寧な生活を確保するために～」  
インパクト・レポート

### 1 提言の内容

- (1) 国の健康政策に「より健康で安全な労働」を位置づけるとともに社会的パートナーである労使と協力して安全衛生システムの構築を図る
- (2) 労働・雇用および安全衛生にかかわる関連法制度の整備と新たなシステム構築に向けて
  - ① 過重労働と過労死・過労自殺を防止するための法的な整備を行う
  - ② 非正規雇用労働者の待遇改善に向けて法制度を整備する
  - ③ すべての就業者に安全衛生に関する法律・制度を適用する体制を強化する
  - ④ 職場の危険有害環境を改善するために法制度の整備を図る
  - ⑤ 中小零細企業での労働安全衛生向上のための諸施策を充実させる
  - ⑥ メンタルヘルス対策のために有効な施策やプログラムの立案・普及を図る
  - ⑦ 産業保健専門職による質の高い産業保健サービスを実施するための法制度を確立する
  - ⑧ 安全衛生に関する研究・調査体制の充実を図る
- (3) 事業主および労働者、関係諸機関に求められる取り組み
  - ① 事業主および労働者は自主的な安全衛生活動を推進する
  - ② 大学、研究機関、学協会等の活動を一層強化し、連携を図る

### 2 提言の年月日

平成 23 年 4 月 20 日

### 3 社会的インパクト

#### (1) 政策

現在、厚生労働省は「健康日本 21」の後継施策として新たな「21 世紀の健康づくり運動」を立ち上げる準備を行っているが、この中に、職場における健康づくりとして、労働時間や休暇をどのように盛り込むかが盛り込まれることになった。これまでの日本の健康政策は、旧厚生省の枠組みで実施されるものが多く、その中には、職場環境の改善については全く取り入れられていなかったことを鑑みると、本提言の政策的インパクトは大きかったと考えられる。

#### (2) 学協会・研究教育機関・市民社会等の反応

##### ① 学協会

(ア) 提言発出後、昨年 4 月以降に開催された労働・雇用と安全衛生に関係の深い諸会議では、提言の内容、特に過重労働対策、非正規雇用における問題点、放射線を含む高リスク作業環境管理、メンタルヘルスにおける一次予防、産業保健サービ

スのあり方に関して提言が提起した方向が議論されている。

例として、第 84 回日本産業衛生学会(2011 年 5 月 18-20 日、東京)、第 18 回世界人間工学会議(18th World Congress on Ergonomics、2012 年 2 月 12-16 日、ブラジル Recife 市)、第 30 回国際産業保健学会大会(30th International Congress on Occupational Health、2012 年 3 月 18-23 日、メキシコ Cancun 市)における討議が挙げられる。

- (イ) 国際保健機関の産業保健協力センター世界ネットワーク会議(Meeting of the Global Network of WHO Collaborating Centres for Occupational Health、2012 年 3 月 15-16 日、メキシコ Cancun 市)において 2012-2017 年計画の討議が行われた際に、提言が力点を置く非正規雇用および小規模事業場における基本的産業保健サービスに関する活動が計画に含まれた。また、国際労働機関が労働安全衛生分野の国際学会である国際人間工学会連合および国際産業保健学会の協力を得て刊行した「農業の人間工学チェックポイント」(Ergonomics Checkpoints for Agriculture、ILO、2012 年)および「職場ストレス予防チェックポイント」(Stress Prevention at Work Checkpoints、ILO、2012 年)において、提言内容が反映された。
- (ウ) 日本産業衛生学会の労働関連法制度委員会では、日本学術会議の本提言を受けて、今後の労働雇用安全衛生に関するシステム改革を担う産業衛生医・産業衛生看護師・産業衛生技術職の役割についての検討を始めた。

#### ②研究教育機関

独立行政法人労働安全衛生総合研究所で定期刊行されている国際学術誌 Industrial Health の 2012 年第 50 巻第 1 号の論説(Editorial)において、提言が労働安全衛生分野における重要な進展の 1 つとして引用され、提言の示す将来方向とも合致した研究と産業現場対策の進展が重要であると指摘された。(提言は文献 10 として引用)

#### ③市民社会等の反応

- ・過重労働と過労死・過労自殺を防止するための法的な整備を行うための動きが、労働組合や「過労死 110 番」などの NPO 団体を中心に起こっている。
- ・「働くもののいのちと健康」で平成 23 年 12 月 9 日に日本学術会議の提言を紹介する形で、基調講演を依頼され、講演を行った。

### 4 メディア

- ・毎日新聞北海道版(平成 24 年 1 月 12 日朝刊)特集に日本学術会議の提言を紹介した。
- ・医学書院発行の月刊雑誌「公衆衛生」において、日本学術会議の本提言を市民や公衆衛生従事者に対し、全 24 回に渡って「講座」の形をとって分かりやすく記述することになった。

### 5 考察と自己点検

- ・課題別委員会提言であったが、23 年度は印刷費用がないとのことで、日本学術会議からは提言の印刷は行われなかった。一方、委員会としては印刷して配布することが肝要と考え、300 部を印刷し厚生労働省など関係者に配布した。

- ・ 上記の国際的な学術集会では、過重労働、非正規雇用、放射線を含む高リスク作業環境管理において、緊急時を含む包括的な安全・健康リスク対策が重要であることに、提言の示す方向が確実に反映されているとみることができる。
- ・ 日本産業衛生学会をはじめとする諸会議では、提言に参画した委員が参加しており、関連テーマの討議において提言を踏まえた討議が上記テーマ別に行われた際に、提言内容の示す方向が討議に反映されていた。
- ・ WHO 産業保健協力センター世界ネットワーク会議の討議においても、提言に参画した委員が参加しており、具体的な活動計画に基本的な産業保健サービス支援策が盛り込まれることに寄与した。
- ・ ILO 刊行物の編集についても、提言に参画した委員が複数参加している。その結果、過重労働、非正規雇用を含む高リスク作業環境管理、メンタルヘルス対策の作業状況に応じた応用が重視されることとなり、提言の内容が反映されていると言える。
- ・ 提言では時間の関係で十分検討されていなかった内容(たとえば有期雇用など非正規雇用問題の改善策、CSR、企業と従業員の社会的パートナーシップのありかた、放射線の働く人への影響、義務教育、高等教育、就活の場などでの労働安全衛生教育のありかたなど)については、今後も学術会議などでさらに検討を進める必要があると考えている。

インパクト・レポート作成責任者  
労働雇用環境と働く人の生活・健康・安全委員会委員長 岸 玲子

持続可能な長寿社会に資するコミュニティの構築委員会  
提言「持続可能な長寿社会に資する学術コミュニティの構築」  
インパクト・レポート

1 勧告等内容

(1) 持続可能な長寿社会に資する学術政策の策定・推進

(2) 可能な長寿社会に資する学術コミュニティ(ジェロントロジー研究教育  
拠点)の体制整備とジェロントロジー研究の推進

①高齢社会対策基本法における条文制定、②日本老年学会の研究領域・体制の拡大、③産官学民によるジェロントロジー研究教育拠点の形成、④ジェロントロジー研究教育拠点の連合組織化。

(3) あらゆるライフステージにおけるジェロントロジー教育の導入と推進

①小・中・高等学校におけるジェロントロジー教育、②学部・大学院におけるジェロントロジー教育、③成人および高齢者に対するジェロントロジー教育

2 勧告等の年月日

平成23年4月20日

3 社会的インパクト

(1) 政策

国の政策には未だ具体的に反映せず

(2) 学協会・研究教育機関・市民社会等の反応

① 日本老年学会の平成23年度学会(6月15日、京王プラザホテル)において、シンポジウム「日本学術会議『持続可能な長寿社会に資する学術コミュニティの構築』(提言)から老年学はいかに展開していくのか」が開催された

1) 日本学術会議提言の概要説明 秋山弘子

2) 日本老年学会からの提案 大内尉義

3) シンポジスト(意見表明)

1 日本老年医学会代表

2 日本老年社会科学学会代表

3 日本基礎老化学会代表

4 日本老年歯科医学会代表

5 日本老年精神医学会代表

6 日本ケアマネジメント学会代表

7 日本老年看護学会代表

② 東京大学山上会館において平成23年9月14日(水)「日本における老年学・老年医学推進のためのシンポジウム」が以下の内容で開催された。市民を含め、約70名の参加があった。



- 1)日本学術会議臨床委員会老化分科会からの提言について  
東京大学 大内尉義
- 2)老年医学の卒前・卒後教育の現状と展望  
東京医科歯科大学 下門顕太郎
- 3)老年学の推進と研究、教育体制構築の展望  
京都大学 荒井秀典
- 4)高齢者医療体制をどのように構築していくか  
国立長寿医療研究センター病院 鳥羽研二
- 5)在宅医療・チーム医療、介護システムの開発とその意義  
国立長寿医療研究センター 三浦久幸

③日本学術振興会のリーディング大学院に学際的な大学院教育プログラム「超成熟社会発展のサイエンス」(慶応義塾大学)が採択された。

#### 4 メディア

なし

#### 5 考察と自己点検

人口の高齢化は21世紀の人类的課題であり、最長寿国である日本の動き(科学、政策、産業)に世界は注目している。長寿社会の広範で複雑な諸課題の解決に科学が先導的な役割を果たすためには、諸科学が有機的に連携して取り組まねばならない、しかし、縦割りの学問体系の壁は厚く、上記の日本老年学会のシンポジウムにおいて、学際的な学術コミュニティ形成の必要性は確認されたが、各分野からは主として分野内の課題に関する報告がなされ、横の繋がりに発展するには学会組織の見直しが必要だと思われる。他方で、慶応義塾大学における学際的なリーディング大学院の設立や、いくつかの総合大学で分野連携によるジェロントロジー教育・研究組織の芽生えがある。今後さらに、提言の主旨にそった地道な活動を強化していくことが求められる。

インパクト・レポート作成責任者  
持続可能な長寿社会に資するコミュニティの構築委員会  
委員長 秋山 弘子